ワクワクインタビュー Vol.23

今回のゲストは「ベノック・パター」の開発者ベノック株式会社代表取締役　奥田潤さんです。本業は、京都を代表する精密・微細金属加工のベンチャー企業。仮説を立てて、それを検証していくことに魅力を感じるとのことで、何ごとも論理的に進めて行かれる方とお見受けしました。ただ、ゴルフはなかなか思うように行かない場合もあるようで…。

奥田社長は大阪芸術大学のご出身とのことですが、なぜ金属加工業の会社を起業されたのでしょうか?

もともと写真とか映像とかに興味があって大阪芸大へ進学しました。ただ、将来は自分で会社を立ち上げたいと思っていましたので、卒業後まず証券会社に入社して経済の勉強を一からやり直しました。

情報を分析していく中で、日本の国力は電子部品にありと考えて、専門商社へ転職しました。その後、微細金属加工にターゲットを絞って起業のチャンスを窺っていました。

そして1999年日銀がゼロ金利誘導したことを千載一遇のチャンスととらえ設備を導入し起業しました。

とても戦略的な生き方ですね。

大量のデータベースの中から仕分け作業をして分類、分析してひとつの法則を見つけることに興味があって、本業の金属加工もまったく機械にさわらずにスタートしました。仮説を立てて、それを証明するために会社を始めたようなものです。

その微細金属加工の技術をもってパターの開発に乗り出された…。

はい。2009年からです。前年にリーマンショックがあり、仕事が激減しました。受託加工ではこちらが生産をコントロールしづらい。そこで本業をやりながら、社内で完結するモノづくりは何かと考え続けてパターに行きついた。私の狙いは世界でも通用するようなブランドを立ち上げることで、ベノック・パターでそれが実現できればと思います。ちなみに社名のベノックは、【BEST】【NEEDS】【OFFER】【TECHNOLOGY】から文字を取った造語で、世界展開を見据えてネーミングしました。

ベノック・パターの特徴をお聞かせ下さい。

フィッティングをして、そのデータをもとにお客様に合ったライ角・ロフト角・重心角・重心深さ・重心高さ等を割り出し、オリジナルパターをお作りしています。バックスイングからアドレスの位置に、かまえた角度で戻って来やすいこと。正しいロフトをお作りしてボールがよい転がりをすること。正しい高さに重心を配置して常に芯で当たる確率を高めること。これらがベノック・パターの特徴でしょうか。またオーダーメイドなので各々デザインも違うし、微細加工の技術を生かしたアートなパターというのも当社だけです。

ベノックパターコレクション
シンプルなデザインから
アート感覚なものまで

プロゴルファーの方たちへのパターの提供もされているとか…。

はい。西田弘樹プロ、田村圭プロ、富田雅哉プロなどですね。富田プロは昨年開催されたファイナルQTで今年のツアートーナメント出場権を獲得されたそうで、とても嬉しいですね。

ベノック・パターの面目躍如といったところですね。ここで社長ご自身のゴルフライフについてお聞かせ下さい。ゴルフを始められたきっかけは?

起業して間もなく、2000年頃から機械商社主催のコンペに参加するようになったことがきっかけです。

気の置けない友人と…

当時からパターには思い入れがおありでしたか?

グリーン上ではうねりとか結構緻密に考えていましたね。今でも、どうやればカップインするかゲーム感覚で戦略を練ります。逆にティーグランドからグリーンまでは、スポーツ感覚で体力がものを言う。

それは言い得て妙ですね。

プロゴルファーの方たちとご一緒した時でも「奥田さんはグリーン上ではプロに見えますね」とおっしゃっていただくことがあります(笑)。

年間ラウンド数をお聞かせ下さい。

以前は100回位でしたが、今は20回あるかないか。パター事業を始めてからは土日がつぶれますからね。

ベストスコアは?

日野ゴルフ倶楽部で80というのがありますが、私は出入りの多いゴルフですので、試合なんかでもスコアが突如乱れてしまうことがあります。林などに打ち込むと作戦を立て直す暇がなくて、あせって大叩きしてしまう。

社長も私たちと同じで安心しました(笑)。最少パター数は憶えておられますか?

ハーフ9というのがありました。

ホームコースが日野ゴルフ倶楽部と伺っていますが、メンバーになることのメリットはどのあたりにあると思われますか?

同じ趣味で同じ環境の方たちと出会えることですね。経営者としての悩みとかも共感できて、アドバイス等もいただいています。このコーナーに以前出られていた杉本慎治さん、徳田敏行さんもよき先輩たちです。

最後になりましたが、座右の銘や今後の目標をお聞かせ下さい。

座右の銘は「鋼鉄の意志とマシュマロの心」。意志は固く、心は柔らかくという意味合いで、実は中学校の時に自分で考えたんです(笑)。

今後の目標は仕事の面では、「最も信頼のおけるパター」と世界のゴルファーから言われるようなメーカーを目指したい。ゴルフでは、友人とラウンドできるくらいまで腕前を戻したいですね(笑)。

本日はありがとうございました。

Profile プロフィール

奥田　潤 さん（おくだ じゅん）

京都市南区在住
ベノック株式会社　代表取締役
TEL(075)693-8280
www.facebook.com/benockputterhistory
昭和42年3月23日生まれ(満46歳)
・ゴルフ歴　約10年
・所属コース　日野ゴルフ倶楽部
・ご家族　奥様